

読者モデルのお仕事体験

カメラマンアシスタント

📷 Assistant Photographer

有名モデルだったり、キレイな服だったり、心が癒されるような風景だったり…、インターネットや雑誌などのメディアの中で一際目を引きつける写真。そんな誰もが夢をみるような写真を撮るプロ・フォトグラファーのアシスタントに、今企画最年少の勝俣嬉良々さんが挑戦！撮影現場の独特の雰囲気を楽しみながら、お仕事を体験してもらいました。

ご協力頂いた会社

読者モデル



Chris Huzzard - Photographer

クリス・ハザード氏
パース市内にスタジオを構え、モデル撮影から料理、風景まで、幅広いジャンルで高い定評を持つプロ・フォトグラファー、クリス・ハザード氏。本誌『フォトジェニックコンテスト』の審査員も務める。



かつまた きらら
勝俣 嬉良々さん
(14才) 学生

在パース歴：2年1ヶ月
小さい頃から英語に触れ、海外の学校で勉強したいという願いから中学1年生のときに家族で渡豪。乗馬やネイルが趣味で、妹思いの優しいお姉さん。

10:00am スタジオ到着



1 まずはクリスさんに自己紹介。「今日は美容師さんの大会用の撮影があるんだ」とのこと。

10:10am クリスさんの写真を見る



2 モデルさんの準備ができるまで、クリスさんがそれまで撮った、モデルさんの写真を見せてもらう。キレイな写真にうっとり。

11:00am 2回目の撮影



クリスさんと一緒に。クリスさんはとっても優しく、面白い人です！



4 次の撮影に最適な場所や高さ照明機材を移動して、スタジオのセッティングをする。

10:30am 1回目の撮影



3 モデルさんとヘアスタイリストさんと一緒にパースの街へ。クリスさんから大きいレフ(反射)板を渡され、細かく位置を指定される。



クリスさんが、撮ったばかりの写真をみんなに見せてくれる。本当にキレイ！プロのフォトグラファーってすごい！！

5 撮影開始！
暗いスタジオでも、クリスさんがシャッターを切ると同時に、照明が強い光を発生して幻想的な写真に。「こういう方法もあるんだ」と納得。



11:30am 3回目の撮影の準備



6 スタジオの最上階まで照明機材を運ぶ。すると非常階段のドアを開けたクリスさんが、「今度はここで撮るんだ。モデルが踊り場の手すりのところにいるから、キララさんはその横で照明を支えて」。私にできるかなあ…。



7 メイクルームで、ヘアスタイリストさんたちの様子を見学。こんなに近くでプロの仕事が見れるなんて感激！

➤ 次頁上段へ